

2017年度  
事業報告書

自 2017年4月1日

至 2018年3月31日



公益財団法人

日本ゲートボール連合

## 目 次

I. 一般概要 .....	1
II. 事務報告 .....	2
1. 基本財産 .....	2
2. 会 議 .....	2
(1) 評議員会の開催 .....	2
(2) 理事会の開催 .....	2
(3) アドバイザリー会議 .....	3
(4) 中期ビジョン検討会議の開催（日本財団助成事業） .....	3
3. 事務局機構 .....	3
4. 届出・登記事項 .....	3
III. 事業報告【公益目的事業】 .....	4
1. 普及および振興 .....	4
(1) 基礎的条件等の整備（日本財団助成事業） .....	4
(2) 学校スポーツとしての育成 .....	5
(3) リレーション（2人制・3人制ゲートボール）の普及推進 .....	6
(4) ゲートボール用具等の寄贈（日本財団助成事業） .....	6
2. 競技力の向上 .....	6
(1) ゲートボール技能認定の実施 .....	6
(2) 競技水準向上事業（日本財団助成事業） .....	6
3. 全日本選手権大会およびその他の競技会の開催 .....	6
(1) 全国大会の開催（助成事業） .....	6
(2) 地域選手権大会の主催と都道府県大会への支援 .....	8
4. 国民体育大会 .....	9
(1) 公開競技の実施（日本財団助成事業） .....	9
(2) 第73回国民体育大会（ふくい国体）地域予選会 .....	10
(3) 公開競技の開催準備 .....	10
(4) 正式競技種目採択のための活動 .....	10
5. 国際的競技会の開催と代表チームの選考および派遣、外国チームの招聘 .....	11
(1) 海外派遣事業（日本財団助成事業） .....	11
(2) 国際公式競技規則改正への協力（日本財団助成事業） .....	11

(3) 国際大会への日本チームの派遣（日本財団助成事業） .....	11
<b>6. 競技規則に関すること .....</b>	<b>12</b>
<b>7. 指導者の養成 .....</b>	<b>12</b>
(1) 指導者の育成（日本財団助成事業） .....	12
(2) 公認指導者の養成 .....	12
<b>8. 審判員の養成および認定 .....</b>	<b>15</b>
(1) 審判研修会の開催（日本財団助成事業） .....	15
(2) 審判員資格試験の実施 .....	15
(3) 審判員資格の登録と登録更新の実施 .....	15
(4) 永年審判員登録者数 .....	16
(5) 国際審判員資格試験の実施 .....	16
<b>9. ゲートボール器具・用具の研究開発および認定 .....</b>	<b>20</b>
<b>10. ゲートボールに関する刊行物の発行 .....</b>	<b>20</b>
<b>11. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業 .....</b>	<b>20</b>
(1) 功労者等の表彰 .....	20
(2) 各種大会への協力 .....	20
(3) 調査・科学的研究の推進および事故防止 .....	21
(4) 広報事業 .....	23
(5) 会員データシステムの構築・整備 .....	23
(6) 寄付金・賛助金および協賛企業等の募集 .....	24
<b>【参考：各種名簿】 .....</b>	<b>26</b>
別表第1 評議員：任期4年（8名以上15名以内） .....	26
別表第2 理事：任期2年（8名以上15名以内） .....	26
別表第3 監事：任期2年（2名以内） .....	27
別表第4 アドバイザー .....	27
別表第5 事務局組織図 .....	28
<b>【2017年度事業報告における附属明細書】 .....</b>	<b>29</b>

## I. 一般概要

公益財団法人日本ゲートボール連合（日本連合）では、国内外におけるゲートボールの普及を通じて世代や地域を超えたコミュニケーションの促進を図り、国民の心身の健全な発達、明るい生活・活力ある社会の実現および国際社会の調和に寄与することを目的に、多様な事業を積極的に展開しているところである。

2017年度も前述の目的を達成するため、「基礎的条件の整備」「全国大会の開催」「審判員・指導員の養成」「広報活動」等多彩な普及事業を展開した。

さらに、2018年度に開催される第12回世界ゲートボール選手権大会の開催準備のため世界ゲートボール連合に協力した。

各事業の詳細については、「Ⅲ. 事業報告【公益目的事業】」に記載した。

なお、各事業の実施にあたり、日本連合は、都道府県加盟団体をはじめ、関係行政機関、関係団体と協調している。特に、日本財団をつうじて貴重なポートルースの収益金の一部を支援いただいているほか、日本スポーツ振興センター、スポーツ安全協会の支援を受けた。

## II. 事務報告

### 1. 基本財産

2018年3月31日現在の基本財産は1億円である。

※財務諸表では債券が時価評価となり、期末の基本財産は、99,667,700円となっている。

### 2. 会 議

日本連合の事業遂行のため、評議員会および理事会を以下のとおり開催し、事業遂行の重要案件を審議した。

また、理事を構成員とする「中期ビジョン検討会議」を初めて開催し、今後の日本連合の事業運営について意見交換を行った。

#### (1) 評議員会の開催

##### 1) 2017年度定時評議員会

- ① 開催日時：2017年6月27日（火）11:00～12:05
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席評議員7名、欠席評議員5名、出席監事1名
- ④ 審議事項
  - 第1号議案 平成28年度事業報告ならびに財務諸表の承認に関する件
  - 第2号議案 理事の選任に関する件

#### (2) 理事会の開催

##### 1) 第15回理事会

- ① 開催日時：2017年6月8日（木）10:58～11:48
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席理事9名、欠席理事1名、出席監事2名
- ④ 審議事項
  - 第1号議案 平成28年度事業報告ならびに収支決算に関する件
  - 第2号議案 2017年度定時評議員会の開催に関する件
  - 第3号議案 2018年度日本連合主催全国大会の開催地に関する件
  - 第4号議案 2018年度日本財団等への助成金の申請に関する件
  - 第5号議案 世界ゲートボール連合等の業務受託に関する件

##### 2) 第16回理事会

- ① 開催日時：2017年6月27日（火）13:25～14:07
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席理事8名、欠席理事2名、出席監事1名
- ④ 審議事項
  - 第1号議案 会長の選定に関する件

##### 3) 第17回理事会

- ① 開催日時：2018年3月7日（水）11:03～12:24
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館

- ③ 出欠者：出席理事8名、欠席理事2名、出席監事2名
- ④ 審議事項
  - 第1号議案 2017年度収支予算の一部補正に関する件
  - 第2号議案 2018年度事業計画ならびに収支予算に関する件
  - 第3号議案 世界ゲートボール連合ならびにアジアゲートボール連合の業務受託に関する件

### (3) アドバイザリー会議

都道府県加盟団体に各1名、学識として1名のアドバイザーを委嘱し、日本連合の今後の事業展開、加盟団体相互の情報交換を目的に年に1回アドバイザリー会議を開催しているが、今後の会議の運営について再検討するため今年度は開催しなかった。

※アドバイザーの名簿は「別表4 アドバイザー」(27ページ)参照

### (4) 中期ビジョン検討会議の開催（日本財団助成事業）

今後の日本連合の事業運営に対し理事と意見交換を行った。

- ① 開催日時：2018年1月26日（金）15:00～17:20
- ② 開催場所：東京都中央区 一般財団法人地域活性化センター 会議室
- ③ 参加者：理事8名、事務局員9名

## 3. 事務局機構

2018年3月31日現在の事務局機構は、別表第5のとおり2部4課であり、職員9名である。

## 4. 届出・登記事項

- ① 内閣府への届出
  - 事業計画、事業報告等 3件
- ② 日本体育協会への届出
  - 事業計画、事業報告等 2件
- ③ 日本レクリエーション協会への届出
  - 事業計画、事業報告等 2件

### Ⅲ. 事業報告【公益目的事業】

#### 1. 普及および振興

##### (1) 基礎的条件等の整備（日本財団助成事業）

加盟団体の組織強化や相互理解の促進を図りながら、指導体制の拡充、競技水準の向上、加盟団体の財務強化、情報伝達や広報手段の促進など、新たな愛好者の拡大を図るため、大学教授やスポーツ産業の事業者など関係者の協力を仰ぎ、ゲートボール界が更に発展するための基礎となる諸条件の整備を行った。

##### 1) 指導内容等のプログラミング・開発

課 題	実 施 内 容
カテゴリ別指導法	● 審判員養成の教本「審判員テキスト」の見直し (協力) 立教大学
用具開発・環境整備	● 人工芝用 特注「ゲート・ゴールボール」の開発 (協力) 日本ゲートボール認定用品工業会
広報・IT強化	● 日本連合ウェブサイトのリニューアル
	● 加盟団体ブログの設置／6加盟団体 青森・山形・茨城・埼玉・長野・徳島 ※計20団体が実施中
ゲートボール全般	● 日本連合中期ビジョン検討会議

##### 2) ゲートボール活動の拠点づくり

“ゲートボールを初めて体験する人やゲートボールをしてみたい人の受入れ先”として、また“ゲートボールをしていない人たちとの接点”として、加盟団体が責任を持って「楽しいゲートボールを提供できる」拠点の整備のための用具支援を行った。主な拠点の領域は以下のとおり。

小学校・ 児童館等	中学校・ 大学等	支援施設	G B場	老人クラブ	その他	計
36	5	2	6	0	15	64

##### 3) 加盟団体の支援・組織体制の強化

##### ① 地域連絡会議の実施

(北海道・東北・北信越・北関東・南関東・近畿・中国・四国・九州)

##### ② 加盟団体マネジメントセミナーの開催

加盟団体事務関係者を一堂に集め、日本連合の次年度の諸事業への理解促進、業務効率の向上、ゲートボールに関する情報発信等について、日本連合と加盟団体担当者との情報共有、意見交換等を行い、相互理解の促進と組織強化を図った。

・期 日：2018年3月1日(木)・2日(金)

・会 場：東京都港区 TKPガーデンシティ品川

・参 加 者：加盟団体役職員 34 加盟団体 58 名

・内 容：〔講習：会員名簿システム導入に関する説明〕

山崎 健 株式会社アイエイエフ コンサルティング  
：加盟団体意見交換

(2) 学校スポーツとしての育成

国民体育大会正式競技種目参加のため、また、本来の全世代型スポーツを目指すためには愛好者の底辺拡大、全国高等学校体育連盟への加盟が不可欠であることから、中学校・高等学校でのゲートボール活動を支援し、ジュニア世代の育成を図る一方、ジュニア世代卒業後の受け皿として、全国ユースゲートボール連盟の活動を支援した。

1) 中学・高等学校でのゲートボール活動を支援する助成事業

全国の学校教育機関における運動部活動(クラブ・同好会)への普及および各体育連盟等への加盟を目指すべく、中学校・高等学校を対象としたゲートボール活動への助成について、16期目となる2017年度は、新たに中学校3校、高等学校2校を支援した。

① 第16期(2017・2018・2019年度)

1	青森山田中学校	青 森
2	水戸市立第三中学校	茨 城
3	十日町市立吉田中学校	新 潟
4	会津北嶺高等学校	福 島
5	千葉県立我孫子高等学校	千 葉

② 第15期(2016・2017・2018年度)

1	星槎国際高等学校 広島学習センター	広 島
2	熊本県立天草高等学校 倉岳校	熊 本

③ 第14期(2015・2016・2017年度)

1	君津市立亀山中学校	千 葉
2	広島県立佐伯高等学校	広 島

2) 第6回全国高等学校ゲートボール選手権大会(スポーツ安全協会助成事業)

高等学校におけるゲートボール活動をとおして全国高等学校体育連盟加盟に向けての更なる活性化を図るため、リレーシヨン-3(3人制)競技による本大会を昨年度に引き続き開催した。

- ・期 日：2017年12月9日(土)
- ・開 催 地：熊本県熊本市 パークドーム熊本
- ・主 管：熊本県ゲートボール連合
- ・参 加 数：10校(50名)
- ・成 績

順 位	学 校 名	加盟団体
優 勝	出雲西高等学校	島 根
準優勝	作新学院高等学校	栃 木
第3位	青森山田高等学校	青 森



**(3) リレーション（2人制・3人制ゲートボール）の普及推進**

リレーション-2、リレーション-3は、少人数でチームを編成し、運動量豊富でスピーディーなゲームが展開できることから、ミドル層やジュニア層を中心に幅広い世代に支持されるようになり、各地域での競技会開催も定着してきた。

日本連合では高等学校選手権大会で採用し、普及に努めた。

**(4) ゲートボール用具等の寄贈（日本財団助成事業）**

従来から普及を図っている国・地域や普及の兆しのある国・地域に対し、スティック・ボール等の用具、競技規則、各種資料を提供してさらなる普及に努めた。

用具：スイス、ウガンダ、オーストラリア、ニュージーランド、パラオ

資料：ポリビア、ウルグアイ、カナダ

**2. 競技力の向上**

**(1) ゲートボール技能認定の実施**

ゲートボール技術と競技スポーツとしての評価向上を目的とした技能認定事業（競技で必要と思われる主なボール配置からの成否に基づき、技術の習得レベルを評価する個人向け検定制度）については、今年度は一時休止とし、現在、見直しが行われている日本体育協会公認スポーツ指導者資格事業との連携を見据えながら新制度に向けた抜本的な見直しに着手した。

**(2) 競技水準向上事業（日本財団助成事業）**

競技スポーツとしてゲートボールを確立するため、第33回全日本ゲートボール選手権大会の全115試合を映像収録し、独自開発したゲートボール専用の分析ソフトを活用して、すべての選手のプレーやチーム戦術等のデータ分析を行った。

また、専用サイト「ゲートボールTV」において、試合結果の速報と収集した全試合の動画をネット上で公開し、誰もが、いつでも視聴できる環境整備を行った。

**3. 全日本選手権大会およびその他の競技会の開催**

**(1) 全国大会の開催（助成事業）**

1) 文部科学大臣杯 第33回全日本ゲートボール選手権大会

(スポーツ振興基金助成事業)

- ・期 日：2017年9月23日（土）・24日（日）
- ・開 催 地：北海道芽室町 芽室南運動公園広場
- ・主 管：北海道ゲートボール連合／芽室町
- ・参加チーム：48チーム（281名）
- ・成 績

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	萬燈組	愛 知
準優勝	北建ジーンズ	福 岡
第3位	小豆島豊栄	香 川
	S Y	新 潟

※年齢・性別不問

2) 第32回全国選抜ゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ・期 日：2017年5月27日（土）・28日（日）
- ・開 催 地：岡山県岡山市 岡山ドーム
- ・主 管：岡山県ゲートボール協会
- ・参加チーム：96 チーム（524名）
- ・成 績

男子クラス（48チーム）			女子クラス（48チーム）		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優 勝	十和田西	青 森	優 勝	さくら	岡 山
準優勝	能美シティー	石 川	準優勝	百間	岡 山
第 3 位	湯田クラブ	鳥 取	第 3 位	チーム絆	大 阪
	都城友の会	宮 崎		福岡とび梅	福 岡

※ 65歳以上とするが、各チームには65歳未満の競技者2名までが参加できる。

3) 内閣総理大臣杯 第34回全日本世代交流ゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ・期 日：2017年10月7日（土）・8日（日）
- ・開 催 地：大分県大分市 大分市営陸上競技場
- ・主 管：大分県ゲートボール協会
- ・参加チーム：48 チーム（292名）
- ・成 績

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	霧島クラブB	鹿児島
準優勝	友和会A	島 根
第 3 位	久慈K. O. S	岩 手
	青友会A	福 岡
文 部 科 学 大 臣 賞	青友会A	福 岡

※15歳未満、15歳以上65歳未満、65歳以上の3世代の年齢の選手でチーム構成する。

※「文部科学大臣賞」  
優勝から第3位までの4チームで年齢差が最も大きいチーム。

4) 第22回全国ジュニアゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ・期 日：2017年7月29日（土）・30日（日）
- ・開 催 地：埼玉県熊谷市 熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム
- ・主 管：埼玉県ゲートボール連盟
- ・参加チーム：79 チーム（569名）

・成績

ジュニア男子1部クラス (24チーム)			ジュニア女子1部クラス (15チーム)		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優勝	もんちゃんず	岩手	優勝	CLARK広島楓	広島
準優勝	大垣ジュニアA	岐阜	準優勝	青森山田A	青森
第3位	青森山田C	青森	第3位	出雲西高校女子	島根
	セブン北海道jr	北海道		作新クラブ	栃木
ジュニア2部クラス (40チーム)			※ジュニア男子1部クラス 15歳以上18歳未満の男子 ※ジュニア女子1部クラス 15歳以上18歳未満の女子 ※ジュニア2部クラス 6歳以上15歳未満、性別不問		
順位	チーム名	加盟団体			
優勝	大潟	新潟			
準優勝	マチルダ	北海道			
第3位	緑ヶ丘ジュニア	岐阜			
	二戸ジュニア	岩手			

5) 第18回全国社会人ゲートボール大会 (日本財団助成事業)

※ 第22回全国ジュニアゲートボール大会との合同開催

・参加チーム：24チーム (146名)

・成績

順位	チーム名	加盟団体
優勝	霧島消防	鹿児島
準優勝	健祥会キング	徳島
第3位	スーパーキング	福井
	ジャトコ	静岡

※同一都道府県内における、同一の官公庁・企業等で職業に従事する者でチームを構成する。

(2) 地域選手権大会の主催と都道府県大会への支援

1) 地域ゲートボール選手権大会

地域愛好者のゲートボール技能向上、相互交流促進、情報交換のため、各地域において大会を開催し、ジュニア・ミドル・シニア各世代への普及促進を図った。

① 地域選手権大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
北海道	北海道	7月22日・23日	15	ザ・小樽(北海道)
東北	宮城	7月8日・9日	48	久慈K・O・S(岩手)
北信越	新潟	6月3日・4日	100	愛宕(富山)
北関東	茨城	9月2日・3日	48	さくら(栃木)
南関東	山梨	9月16日	16	東京ニコクラブ(男子の部・東京)
			16	夢湘南(女子の部・神奈川)
東海	静岡	11月3日	32	竜寿会(愛知)
近畿	和歌山	7月1日・2日	96	大阪みどり(大阪)
中国	岡山	10月14日・15日	40	広島楓(広島)
四国	香川	6月25日	48	小松島(徳島)
九州	大分	11月11日・12日	48	霧島クラブ(鹿児島)

② 地域ジュニア大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
東北	宮城	11月3日	10	久慈来内ジュニア(岩手)

③ 地域ミドル大会・社会人大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
四国 (ミドル)	徳島	6月18日	12	小松島A(男子の部・徳島)
			4	水明荘レディース(女子の部・徳島)
(社会人)	高知	11月12日	6	健祥会(徳島)
九州	鹿児島	8月5日・6日	16	志布志(鹿児島)

④ 地域スーパーシニア大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
東北	岩手	9月16日・17日	20	荒町クラブ(宮城)

2) 都道府県ゲートボール大会

日本連合が主催する全国大会の都道府県予選会を支援することにより、競技としてのゲートボールの普及と選手の競技力を高めるとともに、加盟団体の全国大会に対する参加意識の強化を図った。

4. 国民体育大会

第72回国民体育大会(愛顔つなぐえひめ国体)の公開競技として実施するとともに、各地域における予選会を支援した。

(1) 公開競技の実施(日本財団助成事業)

第72回国民体育大会[公開競技]ゲートボール競技会

- ・期 日：2017年9月2日(土)・3日(日)
- ・開催地：愛媛県松山市 北条スポーツセンター 球技場
- ・参加チーム：32チーム(210名)
- ・成績

男子(16チーム)		女子(16チーム)	
順位	都道府県名	順位	都道府県名
第1位	岐阜県	第1位	埼玉県
第2位	島根県	第2位	青森県
第3位	宮崎県	第3位	石川県

※ 中学生を含まない平成14年4月1日以前に生まれた者。

※ 監督は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ゲートボール指導員の有資格者とする。

(2) 第73回国民体育大会（ふくい国体）地域予選会

地域	開催地	開催日	参加チーム数		優勝（国体参加都道府県）	
			男子	女子	男子	女子
北海道		2018年度開催予定				
東北	宮城	7月8日・9日	6	5	青森県	岩手県
北信越		2018年度開催予定				
北関東	埼玉	2018年2月3日	16	16	栃木県	埼玉県
南関東	山梨	9月16日	16	16	東京都	神奈川県
東海		2018年度開催予定				
近畿		2018年度開催予定				
中国	岡山	10月14日・15日	9	8	鳥取県	岡山県
四国	愛媛	2018年3月11日	6	6	香川県	高知県
九州	大分	10月29日	8	8	長崎県	大分県

(3) 公開競技の開催準備

公開競技としてゲートボール競技の実施が確定している第73回大会以後の国民体育大会に関し、公開競技実施基準等の確認、開催準備スケジュール等について、日本体育協会、開催地実行委員会、会場自治体、開催地加盟団体と協議を行った。

期	回数	開催年	開催地	会場地市町村
第1期	第73回	2018年	福井県	若狭町
第2期	第74回	2019年	茨城県	行方市
	第75回	2020年	鹿児島県	指宿市
	第76回	2021年	三重県	松阪市
	第77回	2022年	栃木県	未定
第3期	第78回	2023年	佐賀県	未定
	第79回	2024年	滋賀県	未定
	第80回	2025年	青森県	未定

(4) 正式競技種目採択のための活動

国民体育大会の改革第3期（第78回～）以後の正式競技種目採択に向け、加盟団体、認定用品工業会のほか、ゲートボール振興議員連盟、関係団体等の協力を仰ぎながら、国体実施競技選定調査に向けた対策と各種事業の成果をアピールするとともに、日本体育協会、都道府県体育協会への働きかけを行った。

## 5. 国際的競技会の開催と代表チームの選考および派遣、外国チームの招聘

### (1) 海外派遣事業（日本財団助成事業）

海外から要請のあった国・地域、および今後の国際選手権大会の円滑な運営を図るため、以下のとおり、役職員を派遣し、国際親善の促進に努めた。

実施日	事業内容	派遣人数
3月29日 ～4月8日	〔訪問先〕ペルー；リマ 第17回南米ゲートボール選手権大会 出席	2名
5月23日 ～5月25日	〔訪問先〕台湾；台中市 国際審判員講習会 講師	1名
6月12日 ～6月20日	〔訪問先〕ブラジル；サンパウロ市 第12回世界ゲートボール選手権大会 打合わせ	2名
7月28日 ～8月1日	〔招聘先〕ウガンダ ゲートボール講習、第22回全国ジュニア大会 視察等	1名
11月13日 ～11月18日	〔訪問先〕中華人民共和国；深圳市 他 第8回アジアゲートボール選手権大会 打合わせ	2名
1月13日 ～1月17日	〔訪問先〕パラオ共和国；コロール州 他 ゲートボール普及指導（宮城県蔵王町交流事業帯同）	2名

### (2) 国際公式競技規則改正への協力（日本財団助成事業）

世界ゲートボール連合との協働で、世界ゲートボール連合加盟団体を対象にした、国際ゲートボール競技規則に関連した国際会議を日本で開催した。

・ゲートボール国際会議 2017 の開催

実施日／会場	参加国・地域
8月17日・18日	9カ国・地域
T K P ガーデンシティ品川	オーストラリア／ブラジル／中国／インドネシア 韓国／ペルー／フィリピン／台湾／日本
検討1) 国際ゲートボール競技規則・審判実施要領の見直し 検討2) 障がい者向けゲートボール競技規則 報告事項) 第12回世界ゲートボール選手権大会 開催要項（案）他	

### (3) 国際大会への日本チームの派遣（日本財団助成事業）

派遣要請のあった国際大会に日本チームの派遣協力を行い、国際親善の促進に努めた。

実施日	事業内容	派遣人数
8月21日 ～8月28日	〔訪問先〕イギリス；リボン ゲートボール・オープン大会 2017 参加	11名
1月19日 ～1月23日	〔訪問先〕香港； 第8回アジア都市ゲートボール大会 参加	12名

## 6. 競技規則に関すること

2015年4月1日より改正・施行となった公式競技規則に関し、各種事業をつうじてその周知徹底を図った。

また、「公式競技規則・審判実施要領 2015」について、ゲートボールが競技スポーツとしてより発展していくためのアンケート調査を行った。

## 7. 指導者の養成

### (1) 指導者の育成（日本財団助成事業）

#### 1) 加盟団体が実施する指導者研修会への支援

公認ゲートボール指導者を対象とした加盟団体および地域協議会が行う指導者研修会に対し支援を行った。

- ・期 日：2017年6月～2018年3月
- ・場 所：10加盟団体および1地域
- ・参加者：公認スポーツ指導者ほか 延べ829名
- ・内 容：指導者として必要と思われる講演等
- ・協力講師：看護師、保健師、栄養士、消防士、日本赤十字社沖縄県支部、日本フロアホッケー連盟、アスリートフードマイスター、埼玉県立朝霞高等学校、作新学院高等学校

### (2) 公認指導者の養成

公認スポーツ指導者は、日本体育協会が認定する資格であり、資格認定にはスポーツ一般に関する共通科目と競技の専門性などに特化した専門科目をそれぞれ履修する必要がある。

日本連合では、専門科目の履修に関する業務を担当しており、国民体育大会参加チームの監督には本資格が必要なことから、資格取得の促進を図る一方、資格取得後の資質向上と資格更新のため、義務研修（4年に1回）の受講を奨励した。

※ 詳細は、「公認ゲートボール指導者 養成講習会・義務研修の実施および登録者一覧表」（14ページ）参照

#### 1) 専門科目および準指導員養成講習の検定試験

実施団体	開催地	実施期間	合格者
北海道	北海道音更町	2018年3月9日～2018年3月11日	2
群馬	群馬県前橋市	2017年7月8日～2017年7月22日	10
東京	東京都小平市	2018年2月10日～2018年2月12日	17
長野	長野県松本市	2017年7月18日～2017年7月20日	16
愛知	愛知県豊橋市	2017年10月17日～2017年10月19日	8
三重	三重県松阪市	2017年6月21日～2017年7月28日	11
奈良	奈良県葛城市	2018年1月11日～2018年1月23日	10
福岡	福岡県小竹町	2017年12月9日～2018年1月28日	6
沖縄	沖縄県那覇市	2017年11月3日～2017年12月24日	20
合 計			100

※ このほか、日本体育協会の委託事業等として、新潟県（14名合格）、滋賀県（25名合格）、徳島県（6名合格）、鹿児島県（3名合格）が実施した。

2) 準指導員の登録者数

2017年度の準指導員は、新規登録者1名、登録更新者数は0名であった。

加盟団体	新規登録者数	登録更新数	累 計
北 海 道			1
栃 木			1
長 野			1
三 重			2
京 都			1
岡 山			7
福 岡	1		1
熊 本			1
合 計	1		15

3) 日本体育協会公認スポーツ指導者の登録者数

2017年度末での公認スポーツ指導者（ゲートボール）登録者数は1,270名となり、前年度1,181名から89名の増となった。



## 公認ゲートボール指導者 養成講習会・義務研修等の実施および登録者一覧表

2018年3月31日

		養成講習会 修了者数	義務研修 対象参加者数	再登録 申請者数	登 録 者 数	性 別 内 訳	
						男 性	女 性
1	北海道	2	8		20	16	4
2	青 森		1		12	7	5
3	岩 手		8		29	20	9
4	宮 城		78		62	37	25
5	秋 田		9		15	9	6
6	山 形		7		20	15	5
7	福 島		12		19	15	4
8	茨 城				26	18	8
9	栃 木		19		30	17	13
10	群 馬	10			19	13	6
11	埼 玉		76		141	79	62
12	千 葉				40	24	16
13	東 京	17			13	6	7
14	神 奈 川				40	21	19
15	新 潟		56		129	103	26
16	富 山	2			11	9	2
17	石 川				11	9	2
18	福 井				39	30	9
19	山 梨				14	9	5
20	長 野	14	128		200	146	54
21	岐 阜				21	15	6
22	静 岡				13	8	5
23	愛 知	8			14	8	6
24	三 重	11			12	9	3
25	滋 賀			1	9	8	1
26	京 都		35		43	26	17
27	大 阪				17	6	11
28	兵 庫				9	4	5
29	奈 良	10			4	2	2
30	和 歌 山		14		16	10	6
31	鳥 取				9	8	1
32	島 根		6	3	8	6	2
33	岡 山		28		46	32	14
34	広 島				19	12	7
35	山 口				1	1	0
36	徳 島				20	13	7
37	香 川				35	22	13
38	愛 媛				6	4	2
39	高 知				3	3	0
40	福 岡	6			11	8	3
41	佐 賀				1	0	1
42	長 崎				22	18	4
43	熊 本				2	1	1
44	大 分				12	4	8
45	宮 崎				11	8	3
46	鹿 児 島				13	9	4
47	沖 縄	20			3	3	0
合 計		100	485	4	1,270	851	419

## 8. 審判員の養成および認定

### (1) 審判研修会の開催（日本財団助成事業）

全国大会開催地の加盟団体審判員を対象に、技能と資質向上を図るため、審判実施要領や競技規則、競技会の企画・運営方法等の事前研修会を実施した。

#### 1) 「審判研修会」開催一覧表

実施団体	開催場所	実施日	参加者数
北海道	健康プラザ 他	2017年 6月6日	74名
		8月8日	72名
岡山	岡山ドーム	2017年 4月19日	92名
		5月8日	101名
大分	大分市平和市民公園 大分市宮陸上競技場	2017年 8月24日	78名
		9月12日	114名
埼玉	熊谷スポーツ文化公園	2017年 7月10日	142名
		7月19日	143名
愛媛	北条スポーツセンター 球技場 北条スポーツセンター 体育館	2017年 7月6日	62名
		8月7日	57名
		8月31日	56名
秋田 宮城	あきたスカイドーム（秋田） シェルコムせんだい（宮城） あきたスカイドーム（合同）	2017年 4月28日	75名
		5月30日	54名
		7月6日	123名
合 計			1,243名

### (2) 審判員資格試験の実施

競技を公正かつ円滑に実施するために必要不可欠な審判員の養成を行うため、加盟団体の協力を得て、各級の審判員資格試験を実施した。

#### 1) 受験者数および合格者数

級	受験者	合格者	備考
1 級	306	306	38加盟団体で実施
2 級	526	516	37加盟団体で実施
3 級	2,024	2,018	44加盟団体で実施
合計	2,856	2,840	

※ 詳細は「審判員資格試験実施結果一覧表」（17 ページ）参照

### (3) 審判員資格の登録と登録更新の実施

審判員の技能向上のため、加盟団体の協力を得て、各級の登録や審判員資格更新講習会を実施した。

また、85歳以上の審判員を対象とした永年審判員の登録を実施した。

なお、2017年度の新規登録者数は2,838名、登録更新者数は23,423名となった。

## 1) 新規登録者数および登録更新者数

級	新規登録者	登録更新者	合計
1 級	306	3,875	4,181
2 級	517	3,737	4,254
3 級	2,015	15,811	17,826
合計	2,838	23,423	26,261

※ 詳細は「審判員新規登録者数・登録更新者数一覧表」(18 ページ) 参照

## 2) 登録料免除対象者

ジュニア・ユース世代に対する資格取得の促進のため、登録時に満 16 歳以上 25 歳以下の者、または登録時に所定の学校に生徒として在籍している者を対象に、登録料の免除を行った。

対象登録者	1 級	2 級	3 級	合計
20 加盟団体	0	5	177	182

## (4) 永年審判員登録者数

	1 級	2 級	3 級	合計
新規登録者	3	0	1	4

※ 永年審判員の登録者数は「審判員級別一覧表」(19 ページ) 参照

## (5) 国際審判員資格試験の実施

国際大会に必要な国際審判員を養成するため、国際審判員に関する資格試験・登録、登録更新を実施した。

加盟団体	受験者数	合格者数	新規登録者数	登録更新者数
青 森	1	1	1	
宮 城	1	1	1	
福 島	1	1	1	
東 京	9	9	9	
神 奈 川	3	3	3	
新 潟	11	11	11	13
富 山				1
長 野				2
愛 知	1	1	1	
三 重	1	1	1	
滋 賀				1
和 歌 山	5	5	5	1
鳥 取	1	1	1	
岡 山				1
広 島				5
合計	34	34	34	24

## 審判員資格試験実施結果一覧表

2018年3月31日

		1 級			2 級			3 級	
		新規受験者数	再受験者数	合格者数	新規受験者数	再受験者数	合格者数	新規受験者数	合格者数
1	北海道	8		8	13		13	67	67
2	青森	4		4	10		10	39	39
3	岩手	4		4	2	2	4	52	52
4	宮城	8	1	9	3		3	40	40
5	秋田	1		1				8	8
6	山形								
7	福島							82	82
8	茨城	6		6	3		3	47	47
9	栃木							14	14
10	群馬	16		16	11		11	25	25
11	埼玉	9		9	5		5	54	54
12	千葉	4		4	19		19	37	37
13	東京	15		15	13	1	14	99	96
14	神奈川	4		4	16		14	83	83
15	新潟	28		28	36		36	135	135
16	富山	11		11	10		10	38	38
17	石川								
18	福井	18		18	35		35	25	25
19	山梨	5		5	13	1	13	84	82
20	長野	18		18	40		40	164	164
21	岐阜	6		6	22		22	30	30
22	静岡	5		5	13		13	20	20
23	愛知	6		6	14		14	48	48
24	三重	7		7	17		17	46	46
25	滋賀	8		8	22	2	22	61	61
26	京都	10		10	24		22	24	24
27	大阪	10		10	8		8	55	54
28	兵庫							34	34
29	奈良	1		1	3		3	40	40
30	和歌山	7		7	6		6	11	11
31	鳥取	1		1	7		7	7	7
32	島根	10		10	23		23	57	57
33	岡山	6		6	10		9	20	20
34	広島	5		5	26		26	34	34
35	山口	2		2	6		6	12	12
36	徳島	9		9	6		6	122	122
37	香川	3		3	5		5	24	24
38	愛媛	9		9	23		23	49	49
39	高知							11	11
40	福岡				14		12	37	37
41	佐賀	6		6	12		12	24	24
42	長崎	9		9	3		3	42	42
43	熊本							18	18
44	大分	6		6				46	46
45	宮崎	7		7	5		5	12	12
46	鹿児島	13		13	22		22	47	47
47	沖縄								
合計		305	1	306	520	6	516	2,024	2,018

## 審判員新規登録者数・登録更新者数一覧表

2018年3月31日

		新規登録者数				登録更新者数				合計
		1級	2級	3級	小計	1級	2級	3級	小計	
1	北海道	8	13	67	88	140	156	400	696	784
2	青森	4	10	39	53	8	26	85	119	172
3	岩手	4	4	52	60	110	110	548	768	828
4	宮城	9	3	40	52	99	47	243	389	441
5	秋田	1		8	9	23	12	110	145	154
6	山形				0	51	32	146	229	229
7	福島			79	79	98	90	602	790	869
8	茨城	6	3	47	56	77	77	261	415	471
9	栃木			14	14	79	51	224	354	368
10	群馬	16	11	25	52	96	42	246	384	436
11	埼玉	9	5	54	68	159	77	625	861	929
12	千葉	4	19	37	60	94	55	185	334	394
13	東京	15	14	96	125	128	112	587	827	952
14	神奈川	4	14	83	101	127	128	737	992	1,093
15	新潟	28	35	135	198	73	45	941	1,059	1,257
16	富山	11	10	38	59	87	94	235	416	475
17	石川				0	69	49	74	192	192
18	福井	18	35	25	78	137	142	309	588	666
19	山梨	5	13	82	100	65	110	651	826	926
20	長野	18	40	164	222	303	217	891	1,411	1,633
21	岐阜	6	22	30	58	134	159	406	699	757
22	静岡	5	13	20	38	118	71	242	431	469
23	愛知	6	14	48	68	125	100	518	743	811
24	三重	7	17	46	70	76	91	319	486	556
25	滋賀	8	22	61	91	90	152	673	915	1,006
26	京都	10	22	24	56	135	129	485	749	805
27	大阪	10	8	54	72	3	12	15	30	102
28	兵庫		3	34	37	29	54	158	241	278
29	奈良	1	3	40	44	121	75	259	455	499
30	和歌山	7	6	11	24	7	37	155	199	223
31	鳥取	1	7	7	15	35	28	29	92	107
32	島根	10	23	57	90	117	131	466	714	804
33	岡山	6	9	20	35	63	60	246	369	404
34	広島	5	26	34	65	114	78	300	492	557
35	山口	2	6	12	20	25	23	69	117	137
36	徳島	9	6	122	137	39	45	147	231	368
37	香川	3	5	24	32	66	58	173	297	329
38	愛媛	9	23	49	81	79	66	390	535	616
39	高知			11	11	16	7	18	41	52
40	福岡		12	37	49	22	26	85	133	182
41	佐賀	6	12	24	42	75	74	321	470	512
42	長崎	9	3	42	54	80	105	357	542	596
43	熊本			18	18	71	160	396	627	645
44	大分	6		46	52	43	84	322	449	501
45	宮崎	7	5	12	24	45	35	130	210	234
46	鹿児島	13	21	47	81	105	186	782	1,073	1,154
47	沖縄				0	19	19	250	288	288
合計		306	517	2,015	2,838	3,875	3,737	15,811	23,423	26,261

## 審判員級別一覧表

2018年3月31日

	1 級	2 級	3 級	小 計	永 年 審 判 員				国 際 審 判 員
					1 級	2 級	3 級	小 計	
1 北海道	280	315	931	1,526	9	9	4	22	
2 青 森	24	69	213	306	2	2		4	1
3 岩 手	228	246	1,319	1,793	6	2		8	
4 宮 城	199	101	614	914	20	22	30	72	1
5 秋 田	53	49	271	373	2			2	
6 山 形	174	116	302	592	2	1		3	
7 福 島	193	175	1,273	1,641	7			7	1
8 茨 城	158	173	605	936	1			1	
9 栃 木	179	128	566	873	2			2	
10 群 馬	183	74	299	556				0	
11 埼 玉	402	190	1,299	1,891	2	1		3	1
12 千 葉	171	177	441	789	3	2		5	8
13 東 京	264	227	1,346	1,837	4	6		10	29
14 神 奈 川	284	287	1,589	2,160	14	4	1	19	12
15 新 潟	327	312	2,307	2,946	3	1		4	37
16 富 山	208	211	465	884	1		1	2	2
17 石 川	138	150	161	449				0	
18 福 井	276	338	700	1,314	1			1	2
19 山 梨	180	211	1,289	1,680	1		1	2	
20 長 野	720	505	1,994	3,219	2			2	2
21 岐 阜	275	333	889	1,497	2	5	2	9	
22 静 岡	201	170	624	995	4	2	1	7	
23 愛 知	273	239	1,170	1,682	10	1		11	1
24 三 重	158	201	785	1,144	1	1		2	1
25 滋 賀	214	368	1,551	2,133	9	4	2	15	1
26 京 都	300	315	1,059	1,674	3	1	1	5	
27 大 阪	175	204	800	1,179	5	4		9	
28 兵 庫	176	187	556	919				0	
29 奈 良	202	147	630	979			1	1	
30 和 歌 山	103	110	349	562	1	4	5	10	6
31 鳥 取	82	52	87	221				0	1
32 島 根	224	234	1,010	1,468				0	
33 岡 山	178	135	611	924	4			4	1
34 広 島	275	227	735	1,237	5	3	2	10	5
35 山 口	61	69	161	291				0	
36 徳 島	96	100	531	727	1		2	3	6
37 香 川	163	128	446	737				0	6
38 愛 媛	35	46	237	318	8		4	12	
39 高 知	29	14	61	104	3			3	
40 福 岡	76	84	241	401		1		1	3
41 佐 賀	144	139	766	1,049	1			1	1
42 長 崎	201	194	820	1,215	7			7	2
43 熊 本	70	167	442	679			1	1	1
44 大 分	106	170	858	1,134				0	
45 宮 崎	104	89	304	497	2	1		3	
46 鹿 児 島	234	289	1,837	2,360	2	3	1	6	2
47 沖 縄	42	43	490	575				0	
	8,838	8,508	36,034	53,380	150	80	59	289	133

## 9. ゲートボール器具・用具の研究開発および認定

ゲートボール用具認定規程や同実施要領に準拠し、競技を公正・安全に行うことを目的とした用具の認定基準に則り、第三者機関の安全検査に合格したゲートボール用具を認定する契約を12社と締結し、認定スティックへの認定証紙（シール）の貼付、認定ボールへの刻印を認めた。

## 10. ゲートボールに関する刊行物の発行

競技規則や審判実施要領等の書籍を刊行した。

また、各種の普及活動を効果的に展開するため、パンフレット等を作成・配布した。

### 1) ゲートボールテキスト2017の作成配布（スポーツ振興くじ助成事業）

競技水準向上事業の分析結果に基づく最新の戦術のほか、フェアプレイ、アンチ・ドーピング活動、リスクマネジメント等、スポーツ界が強化推進している重要項目についての冊子を作成し、47加盟団体へ配布するとともに、誰でも活用できるようにホームページでの公開・情報提供を行った。作成部数：80,000部。

## 11. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

### (1) 功労者等の表彰

ゲートボールの普及発展に顕著な功績のあった方（ゲートボール功労者）、ゲートボールを通じて永年健康保持に努められた方（健康功労者）、10年以上審判員登録し功績のあった方（審判員功労者）を、表彰規程に基づき、加盟団体の推薦により表彰した。今年度の表彰結果は以下のとおり。

- |              |      |
|--------------|------|
| 1) ゲートボール功労賞 | 42名  |
| 2) 健康功労賞     | 264名 |
| 3) 審判功労賞     | 237名 |

### (2) 各種大会への協力

官公庁・行政・自治体および関係団体等が主催する大会等に協力し、更なるゲートボールの普及と生涯スポーツの振興に寄与した。

#### 1) 加盟団体以外の団体等が主催したゲートボール大会等への後援

事業名	主催者	開催地	開催期日
第29回さくらんぼゲートボール 全国大会	さくらんぼゲートボール 全国大会実行委員会	山形県 東根市	6月14日～ 15日
2017日本の蔵王day三遊亭円楽杯 ゲートボール交流大会	三遊亭円楽杯GB交流大会 実行委員会	宮城県 蔵王町	10月12日～ 13日
第30回発祥の地杯 全国ゲートボール大会	芽室町 芽室町教育委員会	北海道 芽室町	8月26日～ 27日
第5回山ノ内町観光大使杯 三遊亭円楽ゲートボール大会	山ノ内町観光大使杯三遊亭円 楽ゲートボール大会実行委員会	長野県 山ノ内町	10月24日～ 25日
第1回関西シニアマスターズ・ ゲートボール交流大会	関西広域連合・徳島県・とく しま”あい”ランド推進協議会	徳島県 鳴門市	10月21日
第30回全国健康福祉祭 あきた大会(ねんりんピック)	ねんりんピック秋田2017 大館市実行委員会ほか	秋田県 大館市	9月9日～ 11日
全国ミドルオープンゲートボール 2017in津南高原	一般財団法人 新潟県ゲートボール連盟	新潟県 津南町	10月3日～ 5日
第22回JLC杯 スーパーゲートボール大会	株式会社 日本レジャーチャンネル	静岡県 伊豆市	3月10日～ 11日

第26回小豆島オリーブ杯 ゲートボール全国大会	小豆島オリーブ杯 ゲートボール全国大会実行委員会	香川県 小豆島町	3月3日～ 4日
第3回北海道ユースゲートボール交流会 第3回北海道ユース・ミドル親善GB大会	北海道ユースゲートボール 交流会実行委員会	北海道 芽室町	3月17日～ 18日

(3) 調査・科学的研究の推進および事故防止

1) 調査研究の実施

誰もが安全にゲートボールを楽しむことができるよう、競技会等での事故や傷病の事例を収集し、ゲートボール活動における事故防止や予防に向けた啓発に努めた。

また、事故にあった会員に対し見舞金を支給した。

2017年度の事故防止事業対象者は71,993名となり、前年度と比較して8,738名減少した。また見舞金支給件数は前年比14件の減少となった。

※詳細は「事故防止事業対象者数および事故発生状況一覧表」(22ページ)参照

① 年度別事故防止事業運営実績一覧

年 度	対象者数	支給件数	通 院	入 院	死 亡	見舞金支給額(円)
2012年度	117,472	125	67	50	8	5,975,000
2013年度	106,633	106	53	49	4	5,545,000
2014年度	97,493	85	39	40	6	4,295,000
2015年度	89,837	81	43	34	4	3,900,000
2016年度	80,731	82	39	41	2	4,200,000
2017年度	71,993	68	27	35	6	3,715,000

② ランク別傷病件数

傷 病	A ランク			B ランク			C ランク			合 計			
	通院	入院	死亡	通院	入院	死亡	通院	入院	死亡	通院	入院	死亡	計
捻挫・脱臼		1									1		1
創 傷	1									1			1
挫傷・打撲	5						3			8			8
骨 折	12	16					6	7		18	23		41
心臓器障害					2	1			1		2	2	4
脳疾患					5			1			6		6
熱中症													0
その他					3	1			3		3	4	7
合計	18	17	0	0	10	2	9	8	4	27	35	6	68

注) 本事業への登録者が、日本連合、加盟団体または加盟団体傘下の団体等が主催(共催)・主管・後援するゲートボール競技大会、およびゲートボールに関する講習会・研修会等において事故にあったときは、次のランクに基づき、見舞金を支給する。

Aランク・・・参加中に発生した傷害事故

Bランク・・・参加中に発生した日射病・熱射病、疾病(既往症)、脳疾患や心神喪失など

Cランク・・・参加のための、自宅と目的地の往復路であった事故



## 事故防止事業対象者数および事故発生状況一覧表

2018年3月31日

	対象者数	支給件数	Aランク	Bランク	Cランク	通院	入院	死亡	見舞金 支給額
1	北海道	577	3	1	1	1	2	1	235,000
2	青森	464							
3	岩手	2,542	1		1		1		35,000
4	宮城	2,136	2	1	1		2		160,000
5	秋田	723	2			1	1		115,000
6	山形	888							
7	福島	2,526	1		1		1		55,000
8	茨城	1,303							
9	栃木	1,539	3	3			2	1	190,000
10	群馬	968	1	1		1			15,000
11	埼玉	3,039	5	1	4	2	3		205,000
12	千葉	1,169							
13	東京	1,469	1	1		1			15,000
14	神奈川	3,563							
15	新潟	5,215	5	3	1	1	3	1	350,000
16	富山	1,210	2	1	1	2			30,000
17	石川	544	1	1			1		80,000
18	福井	1,847	1	1		1			35,000
19	山梨	2,063							
20	長野	3,995	3	2	1	2		1	150,000
21	岐阜	2,113							
22	静岡	1,424							
23	愛知	1,245	1	1			1		80,000
24	三重	1,678							
25	滋賀	3,180	1		1		1		55,000
26	京都	2,166	3	3		1	2		195,000
27	大阪	2,244	1	1		1			55,000
28	兵庫	1,593	8	4	1	3	4	1	460,000
29	奈良	850	1		1		1		55,000
30	和歌山	687	1		1	1			15,000
31	鳥取	277							
32	島根	2,407							
33	岡山	1,084	1	1			1		100,000
34	広島	1,797	4	4		2	2		270,000
35	山口	378							
36	徳島	490	1	1		1			15,000
37	香川	626	1	1			1		80,000
38	愛媛	611	1	1		1			15,000
39	高知	74							
40	福岡	388							
41	佐賀	1,202	4	2	2	2	2		245,000
42	長崎	1,714	2	2		1	1		70,000
43	熊本	1,438	1		1		1		45,000
44	大分	1,417	1	1				1	100,000
45	宮崎	290							
46	鹿児島	1,711	5	1	2	3	2		190,000
47	沖縄	1,129							
合計	71,993	68	35	12	21	27	35	6	3,715,000

## 2) ドーピング防止活動の協力推進

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）に協力いただき、ドーピング防止活動として、アンチ・ドーピング研修会およびアウトリーチプログラム（参加型普及啓蒙活動）を実施した。

### ① アンチ・ドーピング研修会

- ・期 日：2017年9月1日（金）
- ・場 所：愛媛県松山市 北条スポーツセンター 体育館
- ・講 師：前川知央／公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構  
教育・情報グループコーディネーター
- ・参加者：72名

### ② アウトリーチプログラム

- ・期 日：2017年7月29日（土）
- ・場 所：埼玉県熊谷市 熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム

## (4) 広報事業

「日本連合公式ホームページ」を大幅にリニューアルし、スマートフォンでの閲覧も念頭において、愛好者のみならず一般の方々に対しても画像や動画を通じて親しみを持てるページ作りに注力した。

また、テレビ・新聞・ウェブサイト運営会社からの取材協力依頼が増えていることから、マスコミ関係者への対応の充実を図った。

### 1) 通信衛星放送による普及啓蒙番組「スーパーゲートボール」の製作と放映

2017年度も、全国大会の放映を中心に番組制作し、再放送分を加えて放映した。

- ・期 間：2017年4月1日から2018年3月31日まで
- ・制作配信：株式会社日本レジャーチャンネル
- ・配信方法：スカイパーフェクTV! 680ch 及び  
ケーブルテレビ 164局（2018年3月31日現在）
- ・放送回数：104回（毎週土曜日・日曜日 6:00～6:55）

### 2) 情報誌発行事業（スポーツ振興くじ助成事業）

ゲートボール情報誌を発行し、ホームページを閲覧する環境にない会員にも広く情報を提供するとともに、日本連合のホームページにも掲載して自由にダウンロードできるように設定した。

- ・名称等：ゲートボール Navi2017年度号（A4縦版、カラー、本文30ページ）
- ・発行日：2018年2月
- ・発行数：75,000部
- ・配付先：事故防止事業対象者ほか

## (5) 会員データシステムの構築・整備

日本連合が管理・運用している審判員、事故防止事業対象者等の名簿データの一元化を図ることにより、日本連合と加盟団体の事務の効率化を図るため、外部業者に委託し、加盟団体の意見を徴しながらシステム構築、データ整備を進め、2018年度より対応可能な加盟団体から順次利用を開始する。

## (6) 寄付金・賛助金および協賛企業等の募集

日本連合の諸事業の一層の充実と発展を図るため、寄付金・賛助金および協賛企業等を募集した。

## 1) 賛助会員 (29社：2018年3月31日現在)

会社名	所在地
株式会社ニチヨー	栃木県足利市
株式会社サンシャインスポーツ	長野県松本市
株式会社サン	新潟県三条市
株式会社ワールドダイヤモンド	東京都世田谷区
株式会社シャトル	福井県越前市
株式会社ロンウッド	富山県南砺市
株式会社本郷	広島県廿日市市
株式会社サンラッキー	大阪府大阪市
株式会社ティエヌケイ	埼玉県川越市
羽立工業株式会社	静岡県湖西市
株式会社ウシクボ	東京都墨田区
井上工業株式会社	兵庫県加東市
大日本トラベル株式会社	東京都港区
東日観光株式会社	東京都中央区
名鉄観光サービス株式会社	東京都品川区
株式会社日本旅行	東京都中央区
株式会社天賞堂	東京都中央区
株式会社かいせい	東京都港区
エーアンドエー株式会社	東京都千代田区
株式会社アオイスports企画	東京都稲城市
株式会社サンワ	埼玉県戸田市
株式会社東京ビー・エム・シー	東京都港区
株式会社イルマックス	東京都墨田区
株式会社ジェイティービー	東京都品川区
株式会社健康プラザパル	東京都中央区
株式会社エイチ・アイ・エス	東京都渋谷区
東洋物産株式会社	東京都杉並区
株式会社日本出版制作センター	東京都千代田区
日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社	神奈川県横浜市

## 2) 大会協賛企業 (13 社)

山崎製パン株式会社	株式会社エイチ・アイ・エス
株式会社シャトル	株式会社ティエヌケイ
株式会社日本レジャーチャンネル	株式会社サンシャインスポーツ
株式会社日本旅行	株式会社ニチヨー
三井住友トラストカード株式会社	株式会社ジェイティービー
株式会社本郷	株式会社健康プラザパル
名鉄観光サービス株式会社	

## 3) 寄付金 (3 件)

## ① 一般寄付

総額 178,330 円の寄付があり、日本連合が実施するゲートボール普及 事業に充当した。

明細は下記のとおり。(順不同、敬称略)

奈良県ゲートボール協会、全国ユースゲートボール連盟、株式会社シャトル

## 【参考：各種名簿】

別表第1 評議員：任期4年（8名以上15名以内）

2018年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
上治丈太郎	一般財団法人日本スポーツツーリズム機構 理事	
久米信行	久米繊維工業株式会社 取締役会長	
小高幹雄	一般財団法人BOATRACE振興会 会長	
児玉義人	鹿児島県ゲートボール協会 会長	
三遊亭円楽	落語家	
下光輝一	公益財団法人健康・体力づくり事業財団 理事長	
中村太一	徳島県ゲートボール協会 会長	
花岡伸和	一般社団法人日本パラ陸上競技連盟 副理事長	
前田晃	公益財団法人日本財団 専務理事	
松尾哲矢	立教大学 コミュニティ福祉学部 教授	
望月美佐緒	株式会社ルネサンス 常務執行役員	

別表第2 理事：任期2年（8名以上15名以内）

2018年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
椎川忍	公益財団法人日本ゲートボール連合 会長	代表理事
中西由郎	公益財団法人日本ゲートボール連合 専務理事	業務執行理事
佐藤黎子	宮城県ゲートボール連盟 理事長	
菅原悟志	公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団 理事長	
南木恵一	一般社団法人とやまライフデザイン研究所 理事長	
花田惇	学校法人青森山田学園 青森山田高等学校 校長	
東野真理子	公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会 常務理事・事務局長	
町田光	公益財団法人日本フラッグフットボール協会 専務理事	
若林静子	一般財団法人新潟県ゲートボール連盟 理事長	
渡邊一利	公益財団法人笹川スポーツ財団 理事長	

別表第3 監事：任期2年（2名以内）

2018年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
岸 郁子	四谷番町法律事務所 弁護士	
菅井明則	公益財団法人笹川平和財団 常務理事	

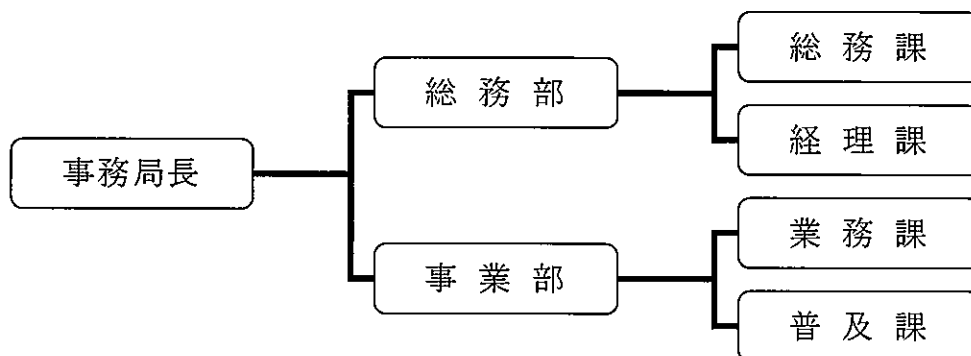
別表第4 アドバイザー

2018年3月31日現在

氏名	所属	氏名	所属
五十嵐 隆男	北海道 G B 連合	山本 議照	滋賀県 G B 連盟
久米田 勇二	青森県 G B 協会	鈴木 信久	京都府 G B 連合
谷藤 正志	岩手県 G B 協会	橋本 健吾	大阪府 G B 連盟
宮崎 正久	宮城県 G B 連盟	望月 登	(一社)兵庫県 G B 連合
成田 成男	秋田県 G B 協会	辻本 隼夫	奈良県 G B 協会
枘田 敏行	山形県 G B 協会	栩野 一美	和歌山県 G B 協会
石井 賢明	福島県 G B 協会	中村 孝太郎	鳥取県 G B 協会
石引 義男	茨城県 G B 連合会	本田 恭一	島根県 G B 協会
小口 孝夫	栃木県 G B 協会	瀧口 壽美男	岡山県 G B 協会
深代 栄三	群馬県 G B 協会	政本 隆延	広島県 G B 連合
元永 厚雄	埼玉県 G B 連盟	中田 憲明	山口県 G B 協会
木内 秀昭	千葉県 G B 連盟	宮本 實	徳島県 G B 協会
大澤 泰男	(特非)東京 G B 連合	川畑 省三	香川県 G B 連盟
岡田 喜久雄	神奈川県 G B 連合	徳永 和夫	愛媛県 G B 連合
阿部 忠孝	(一財)新潟県 G B 連盟	中村 正孝	高知県 G B 協会
中林 勝信	(特非)富山県 G B 協会	竹中 五郎	福岡県 G B 連合
松井 邦夫	石川県 G B 協会	蒲地 春彦	佐賀県 G B 協会
山本 竹司	福井県 G B 協会	上杉 勝也	長崎県 G B 協会
關本 逸兵	山梨県 G B 協会	中嶋 利秋	熊本県 G B 連合
生駒 正	長野県 G B 連盟	小野 悟	大分県 G B 協会
白木 正行	岐阜県 G B 連盟	西村 忠喜	宮崎県 G B 協会
土居 征夫	静岡県 G B 協会	山下 真人	鹿児島県 G B 協会
鈴木 克昌	愛知県 G B 連盟	大城 哲夫	沖縄県 G B 連合
宮田 淳	三重県 G B 連合会	今川 啓一	学 識

別表第5 事務局組織図

2018年3月31日現在



## 2017年度事業報告における附属明細書

2017 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しない。

2018 年 5 月

公益財団法人日本ゲートボール連合



前記のとおり相違ありません。

2018年5月24日

公益財団法人日本ゲートボール連合

会 長 椎 川 忍

2017年度の事業報告書を監査したところ、適正かつ正確であることを認めます。

2018年5月28日

監 事 岸 郁 子

監 事 菅 井 明 則